

Indonesia Weekly

2020年9月14日



(対象期間：2020/9/7～2020/9/11)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年9月11日)



【株式市場】

新型コロナウイルスの感染者数の急増で医療体制などが逼迫していることから、10日にインドネシアの首都ジャカルタでは、14日からの大規模社会制限の再導入が決定されました。10日の株式市場は経済活動への影響などが懸念され全面安となりました。翌11日は買い戻しの動きがみられ反発しましたが、週間では下落しました。セクター別では建設・不動産を除くすべてのセクターが下落し、特に金融、農業の下落幅が大きくなりました。

2020/9/4	2020/9/11	変化率
5,239.85	5,016.71	-4.26%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年9月11日)



【債券市場】

週初は、8日の国債入札が外国人投資家の需要低迷などを背景にやや不調となりましたが、インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。ただし、10日はジャカルタの大規模社会制限の再導入を受けて株式市場および通貨ルピアが大幅下落となり、債券市場も連れ安となりました。また、財政赤字拡大への懸念なども背景に10年国債利回りは上昇し、週間でも上昇となりました。

2020/9/4	2020/9/11	変化幅
6.932	6.961	+0.029

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年9月11日)



【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。7日に発表された8月の外貨準備高は1,370億米ドルとなり、7月の1,351億米ドルから更に増加し過去最高水準となりました。しかし、インドネシア中央銀行（BI）の独立性を巡る懸念などを背景にルピアは上値が重い展開となっていたところに、10日にジャカルタの大規模社会制限の再導入の決定を受けて急落しました。BIは、ルピアの急落を受けて為替介入を強化する姿勢を示しました。

2020/9/4	2020/9/11	変化率
0.7208	0.7086	-1.69%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

